

多摩消防団だより

第9号
発行
平成23年7月吉日
多摩消防団広報部
印刷
井上印刷所



多摩消防団団長
松澤喜義

がんばれ日本!

東日本大震災の直後、第四代多摩消防団団長の任命を受けました。どうぞよろしくお願い申し上げます。伝統ある歴代の団長をはじめ、各町会、自治会、防火防災に関わる諸団体より深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私も今回の大震災の報道を見た時、自然の力を防ぐのには限界がありますが、常に訓練等を通じて経験を重ね、身の周りを点検する事が、有事に役に立ち大切であると感じました。

今後も、多摩消防団は多摩消防署と力を合わせて地域の防火防災、区民の生命財産を守るよう努めて参ります。

本年は八月七日に多摩消防大会があり、八月二十八日の川崎市総合防災訓練と来年一月八日の消防出初式では、川崎市の代表会場となります。どうか関係各位の皆様の一層のお力添えをお願い致します。

本年も多摩区内に災害が無く、住み良い年でありますことを心よりお祈りし、挨拶とさせていただきます。



多摩消防署長
石井敏幸

本年四月一日、多摩消防署長に就任いたしました。

多摩消防団も、平成二十三年度から松澤喜義新団長の下、新体制となりましたので、地域の皆様をはじめ消防団員の皆様にも、前任者同様よろしくお願い致します。

また、退団されました団員の皆様には、長年に亘り地域の安全確保にご尽力を頂きまして、誠にありがとうございます。

東日本大震災では、残念ながら多くの尊い命が失われましたが、各地の消防団員の懸命な活躍により多くの人命が救われており、地域の皆様の消防団員に対する信頼と期待は、益々高まっています。

これらの信頼と期待にこたえるべく、今後も消防団と消防署が一致団結して、多摩区の安全と安心を守って参りたいと思っておりますので、地域の皆様の御指導と御協力をよろしくお願い致します。



平成二十三年四月二日、多摩消防署三階の講堂にて辞令交付式が行なわれました。本団及び生田分団で役員の新体制が新しくなり、新班長や新入団員に対しても、松澤喜義新団長から辞令が渡されました。



| | | |
|---------|----------|----------|
| 多摩消防団役員 | 団長 | 松澤喜義(生田) |
| 副団長 | 井田哲芳(稲田) | |
| 副団長 | 増田朝光(稲田) | |
| 庶務部長 | 三平等(稲田) | |
| 警護部長 | 中山浩(生田) | |
| 消防部長 | 井口保(稲田) | |
| 広報部長 | 関喜範(生田) | |

| | | |
|--------|-------|------|
| 生田分団役員 | 分団長 | 吉澤偉臣 |
| 副分団長 | 鈴木昌己 | |
| 副分団長 | 木幡義幸 | |
| 分団部長 | 樋山満 | |
| 分団部長 | 手塚貴久 | |
| 分団部長 | 大貫欽也 | |
| 分団部長 | 田村賢太郎 | |
| 分団部長 | 安藤聡 | |

| | | |
|--------|-------|-----|
| 生田分団役員 | 分団長 | 井田久 |
| 副分団長 | 木下新一 | |
| 副分団長 | 萱森重次郎 | |
| 分団部長 | 松本勇 | |
| 分団部長 | 石川秀明 | |
| 分団部長 | 山田浩治郎 | |
| 分団部長 | 遠藤厳留 | |

受賞のお知らせ

平成二十三年三月三日、日本消防会館において、井田哲芳副団長が消防庁長官表彰（永年勤続功労章）を受賞しました。

平成二十三年一月一日、井口保消防部長が神奈川県知事表彰（二十年の勤続章と精勤章）を受賞しました。



多摩消防団
副団長

増田朝光

副団長就任にあたり

本年四月より、多摩消防団副団長に就任しました増田朝光と申します。前多摩消防団団長の松澤忠志様におかれましては、多摩消防団員として四十二年間、そして多摩消防団副団長として六年間、川崎市消防団のためにご指導いただきまして誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。私も本団役員に就任してから、広報部長、庶務部長として五年間にわたり諸先輩方よりご指導して頂き、色々と学ぶことが出来ました。今年度より副団長として松澤新団長のもと、消防団活動を遂行して参りたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻をお願い致します。就任の挨拶とさせていただきます。



生田分団 分団長

井田 久

分団長就任にあたり

この度、四月より生田分団分団長を務めることになりました。

まず、三月に起こりました東日本大震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。そして改めて、地域における消防団活動の重要性を痛感しております。なお一層心をひきしめ、多摩消防団と多摩消防署が連携をとりながら一団となつて地域の防災活動に取り組んでいかなければならないと思えます。

私としましては、今までの経験と諸先輩方から学んだことをもとに、生田分団を盛り上げていくよう精一杯努めてまいります。

また、皆様方には日頃より、消防団活動に対するご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度も生田分団五十七名で活動してまいりますので、ご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



松澤団長から井田新分団長に生田分団旗が授与された。

消防団用機械器具等性能検査

平成二十三年四月十六日（土）、宮前区にある川崎市消防総合訓練場にて、小型動力ポンプ及び付属品、消防ホース、ポンプ積載車などの総合点検を実施しました。



水防訓練・水難救助訓練



平成二十三年六月三日（金）、多摩川河川敷の稲田多摩川公園にて実施した訓練に、区防災機関と共に消防団員約百名が参加しました。水害による被害の防止・軽減のために、真剣な訓練が行われました。

編集後記

広報部長
広報部員

関 喜範

田村賢太郎・安藤

山田浩治郎・吉澤

飯島利幸・矢口

田口雅明・木浪

河野順・結城

山方治男・山下

洋平

久裕 聡

真一 也

哲也 実

新体制となり、「前を向いて進みましょう」をテーマに取り組んで参ります。多摩消防団だより第九号の発行に際し、御協力頂いた皆様には厚く御礼申し上げます。多摩消防団広報部一同

おめでとうございます



今後この荣誉に恥じる事の無いように一層精進いたします。」と、思いを語られました。

本年秋の叙勲で、元副団長の竹間清房さんが三十一年間にわたる消防活動を認められて、瑞宝単光章を受章されました。天皇陛下に拝謁なさった竹間さんは「陛下にお言葉を賜り、感謝する思いでしに深く感謝申し上げます。指導

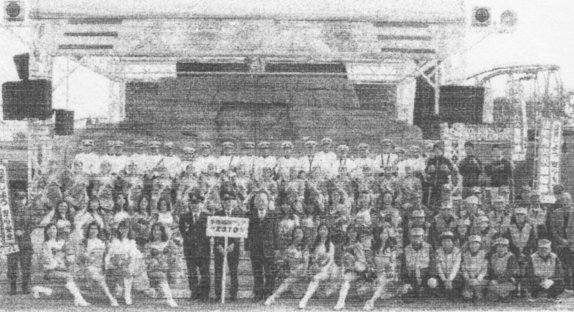
多摩区民祭 警備

九月二十五日、多摩区民祭が開かれ、多摩消防団の生田分署と共に参加しました。会場となった生田緑地や枳形山には森林が多く、民家園などの重要文化財もあり、特に喫煙やポイ捨てなどによる火災の発生が無いように、重点的にパトロールを行いました。

消防フェアの開催

多摩消防署と多摩消防団が協力し、防災知識の普及を図ろうと、十一月二十日に「多摩消防フェア2010」を、よみうりランドで開催しました。

当日は、日本社会人アメリカンフットボールリーグのチアリーダーズや、川崎新田ボクシングジムの方々も協力していただき、総勢百五十名が参加しました。会場には地震体験車やハシゴ車並び、煙体験ハウスなども設置され、多くの来場者に消防活動にふれる場を設けられました。



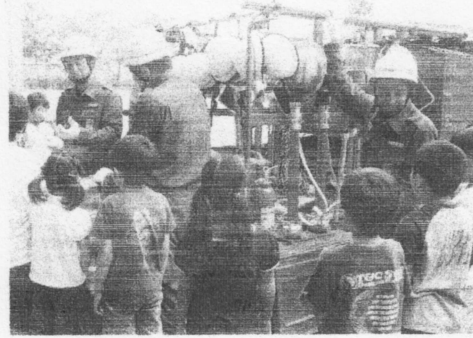
新消防車両の配備



十一月二十二日、多摩消防署にて、稲田分団の大作班と、望田分団の比呂班に待望の新車両が配備されました。性能もアップし、ミッシンにも対応可能なポンプなどの機材も新しいになりました。また、積載量も従来の二割増しに増やしました。また、積載量も従来の二割増しに増やしました。また、積載量も従来の二割増しに増やしました。

「みんなが消防士」事業の開催

区内の小学校にて、四年生を対象とした「みんなが消防士」事業が開催され、各班が消防署と共に地域の小学校に出向しました。消防士と消防団の活動内容の紹介や、消火器具の説明や実演などを行い、火の取扱いの危険性や注意を促し、防火防災の意識を高めるよう呼びかけました。参加した子どもたちは、その操作方法などについて積極的に質問をしていました。



防火パレードへの参加



防火パレードへの参加。消防音楽隊を先頭に、参加した各団体の周りを進めながら、住宅用火災警報器の設置とその啓発に務めました。

年末火災特別警備の実施

大晦日の夕方から深夜にかけて、年末火災特別警備が行なわれ、各班では防火パトロールを実施して火災予防に努めると共に、団員が詰め所に待機して不測の事態に備えました。

お悔やみ

昨年十二月二十四日、東生田班の河原淳班長が、四十六歳の若さで急逝されました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

今号には初めて、受章の報告やお悔やみの記事を掲載いたしました。失礼がございましたら、お詫び申し上げます。紹介する行事が多く、様々な場面での消防団の活動に期待が寄せられていることを実感いたします。

多摩消防団だより第八号の発行に際し、御協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

多摩消防団広報部 一同